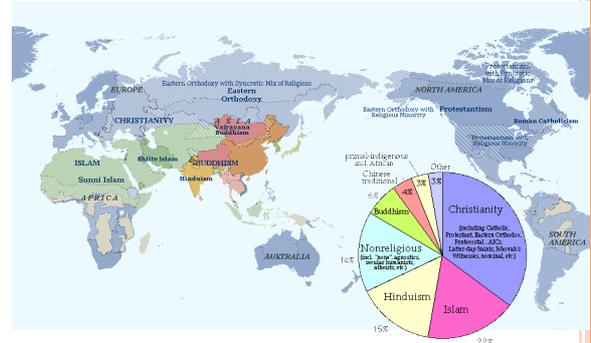


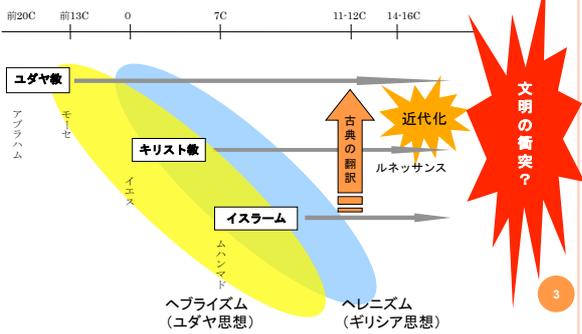
キリスト教の基礎 (3)

キリスト教の歴史的展開

世界の中のキリスト教



一神教の文明論的系譜



キリスト教の起源

- イエスの十字架 (30年頃)
- ユダヤ教の一派として活動
- パウロをはじめとする宣教者によって、ギリシャ・ローマ世界に、イエスのメッセージが伝達される。
- 教会の形成

多様な教会形成の歴史

西方キリスト教世界

ローマ・カトリック教会
↓
英国国教会 (聖公会)
プロテスタント教会
ルター派 (ルーテル) 教会
改革派教会・長老派教会
会衆派教会
バプテスト教会
メソジスト教会、等々

東方キリスト教世界

東方正教会
ギリシア正教会
ブルガリア正教会
ルーマニア正教会
セルビア正教会
ロシア正教会
日本正教会、等々

日本におけるキリスト教

- カトリック
 - 1549年、フランシスコ・ザビエルが鹿児島に上陸。
- 開国以降の変化
 - 1854年、開国とともに、各教派の宣教師の来日が始まる。
 - 1873年、禁制の高札を撤去して布教を黙認。
 - 1889年、大日本帝国憲法の発布。条件つきながら信教の自由が保障されたので、これ以降キリスト教各派の布教は本格化する。

近代日本社会における基督教の影響

- 知識人を中心に影響を与えた。
 - 作家:北村透谷、国木田独步、島崎藤村、有島武郎、正宗白鳥
 - 社会主義運動家:片山潜
- 明治時代後半から大正時代にかけては、プロテスタント系の社会運動が大きく発展した。
 - 貧民救済に献身した救世軍 山室軍平
 - 廃娼運動や足尾鉍毒問題に尽力した作家の木下尚江
 - 少年感化や監獄改良運動を推進した留岡幸助
 - 初期社会主義運動の指導者のひとりである安部磯雄
 - 民本主義を提唱した吉野作造
 - 労働組合運動やセツルメント運動を指導した賀川豊彦
 - 婦人運動の市川房枝
 - 救らい運動に献身した岩下壯一(カトリック)
- 大正デモクラシーの展開に大きな影響を及ぼした。

7

日本近代史における宗教と文明

- 宣教師の宗教観・文明観
 - 宗教的救済は文明の形成に先行する。
- 世俗的知識人の宗教観・文明観
 - 基督教を経由することなく文明に至ることは可能。
- 国家神道を中心とした「反西洋」的な近代化の模索
 - 大東亜共栄圏構想
 - 日本の伝統宗教も基督教も、ナショナリズムに巻き込まれていく。

8

東アジアにおける基督教

- 中国
 - 基督教の「本色化運動」(19世紀から20世紀初頭)
 - 三自愛国教会(自治・自養・自伝)と家庭教会
- 朝鮮半島
 - 反日抵抗運動(戦前)、軍事独裁政権への抵抗運動(戦後の韓国)の担い手としての基督教
 - 韓国:基督教徒が全人口の25~30%を占める。

9

「対話」の模索と実践

- エキュメニカル運動
 - 20世紀初頭、基督教の教派一致運動として始まった。
- 世界教会協議会(World Council of Churches)
 - 1948年、オランダのアムステルダムで発足。
 - ヨーロッパと北米を中心とする147の加盟教団から始まったが、今では、110以上の国から349の教団が加盟している。
 - 東方正教会は設立当初からのメンバーであるが、カトリック教会はオブザーバーとして参加。
- 第二バチカン公会議(1962~1965年)
 - カトリックの「現代化」を模索。
 - 他宗教との対話の意義を認める。

10